

## 2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 金沢市立四十万小学校 ] 担当教諭名 [ 西村 美香 ] ( 6年2組 36名 )

交流相手国 [ ロシア ]

海外学校名 [ Volzhsky Military School ] 担当教諭名 [ Irina Ignatova ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	未来の金沢・未来の世界を創造しよう	20
	英語	Writing A Letter	2

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	私たちの街の良さ
絵に込めたメッセージ	ロシアでは見られない四季の変化を描いた。それぞれの季節で様子が変わる金沢の街並みを、名所を中心に表した。また、今年は北陸新幹線開業の年なので、新幹線が向かう先は子ども達の卒業、そして未来であるという思いが込められている。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の世界の国々に対する関心が高まった。</li> <li>・英語の必要性をさらに感じた。</li> <li>・世界の国を身近に感じる事が出来た。</li> <li>・特に、カードや絵など実物が届いた時はこれまでの取り組みへの達成感を感じていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末に壁画作成をしたが、時間があまり確保できず、慌ただしかった。もう少し計画的にしたかったが、様々な行事やカリキュラム上、難しかった。</li> <li>・日本側と相手国での交流手段の希望が違っていたので、少しやりにくかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
国際交流の導入で、世界情勢について学習したり、ヨーロッパのスポーツ体験をしたり、100人の村ワークショップをしたりした。それによって、世界には様々な国があることを知る事が出来た。また、今の自分達の生活に感謝すべきだという思いを持つことができた。グローバルな視野が育った。	国際交流をする上で、まず、小学生の世界に対する見方がどのようなものかを知ることができた。また、児童が学習してきた英語を、もっと生かす場を与えてあげることが必要だと感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月 10月	日本側とロシア側でペアを作り、ペアの子に自己紹介カードを作った。おりがみで作った作品も添えた。相手からは、動画が届いた。金沢の紹介カードも別に送った。	初めて海外の子に手紙を出すこと、英語で書くこと、初めての事ばかりで大変意欲的だった。届いた動画を見て、英語の流暢さに驚いていた。	総合 英語
テーマ学習	10月 ～ 12月	ロシアの事について調べた。校内の学習発表会では、一部の児童は、ロシアと日本を比較し、それぞれのよさを全校に伝えた。	金沢の伝統工芸がロシアの伝統工芸にも使用されていることに驚き、金沢とロシアの結びつきを感じていた。	総合
構図決定	10月 ～ 12月	児童全員と、構図を決めた。なぜそのような構図にしたいのかも、一人ひとりの思いを大切にしながら決定していった。	とにかく意欲的だった。どの児童も壁画作成にかかわりたい思いがあった。	総合
壁画制作	11月 12月	下描きは、絵の得意な子や、実行委員を中心にいった。色塗りは、小グループに分け、順番に進めていった。	みんなで協力しながら作成していった。水をこぼしたり、後片付けが不完全だったりしたときの児童が少し大変だったが、全員が自分の役割をこなせた。	総合
鑑賞・振り返り	2月 3月	国際交流を通して、クラスごとにどのような取り組みを行ったのか、報告会を開いた。絵が届いてすぐ、全員で写真を撮り、少し鑑賞をした。	国が違えば交流の仕方も違うことを知って。壁画は、完成度が高く、驚いていた。太陽をつなげたり、似顔絵を描いてくれたことにロシアの人々の暖かさを感じていた。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	実際に自分達で金沢をめぐり、話を聴き、これまで知らなかった金沢の良さをしることができた。
異文化の理解	A	5	国が違えば文化や考え方も違うという考えは、年間通して育った。児童の振り返りにたくさん書かれてあった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	必要性や意欲は高まった。得意な子は成果があったが、全体的に変化は感じられなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	5	インターネットを使って目的の物を検索するポイントや、パワーポイントを使った発表の仕方はどの子もできた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	アートマイルを通してとなるとそれほど変化はなかった。相手意識はしっかり持っていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	3	様々な行事と重なり、活動が少し中途半端になってしまっていた。
学習を追究する意欲	B	4	国際交流に関しては、どんどんしりたい！という思いが増していった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	個人差があった。
作品を鑑賞する力	B	3	十分な時間が確保できなかったもので、分からない。